大阪市
キャリア教育支援センター
要覧（令和7年度用）

沿革

大阪市は中学校養護学級の生徒に勤労の喜びを体験させ、作業意欲の向上と働く態度を育成する場として昭和36年、全国に先駆けて大阪市立難波養護学校内に「大阪市精神薄弱児職業教育センター」を設置した。

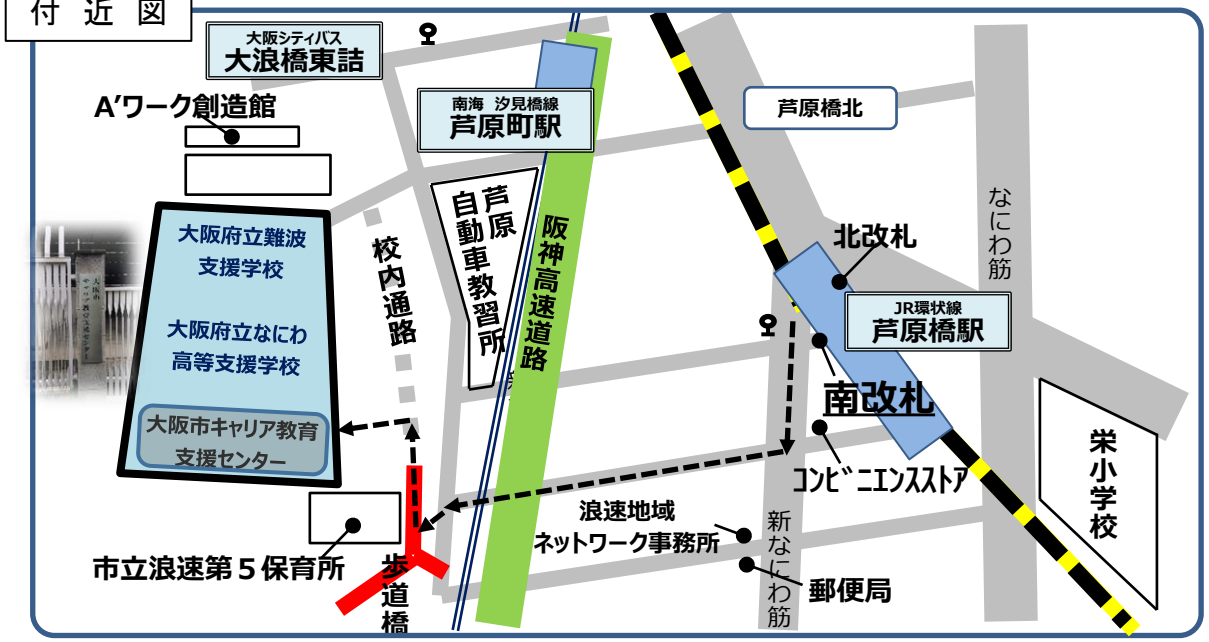
昭和45年から養護学校高等部が設置され、高等部への進学希望者が年々増加する中、養護学校高等部の職業教育の充実が求められたことから、「同センター」を平成4年に改組し、養護教育諸学校高等部及び、中学校養護学級の生徒を対象に職業体験実習の場として「大阪市職業教育訓練センター」を設立した。

平成27年4月「大阪市立特別支援学校整備計画」に基づき、難波特別支援学校を元大阪市立栄小学校を転活用し移転するとともに同センターも見直しを行い「大阪市キャリア教育支援センター」と名称変更した。

平成28年4月より、大阪市立特別支援学校12校が大阪府に移管されたが、当センターは、本市独自事業として引き続き、本市に在住する障がいのある生徒のキャリア教育・職業教育の場として、実習担当指導員や就労相談担当指導員を配置し、職業体験実習をはじめ就労に向けた様々な支援を行っている。

（※精神薄弱は知的障がいに読み換えのこと）

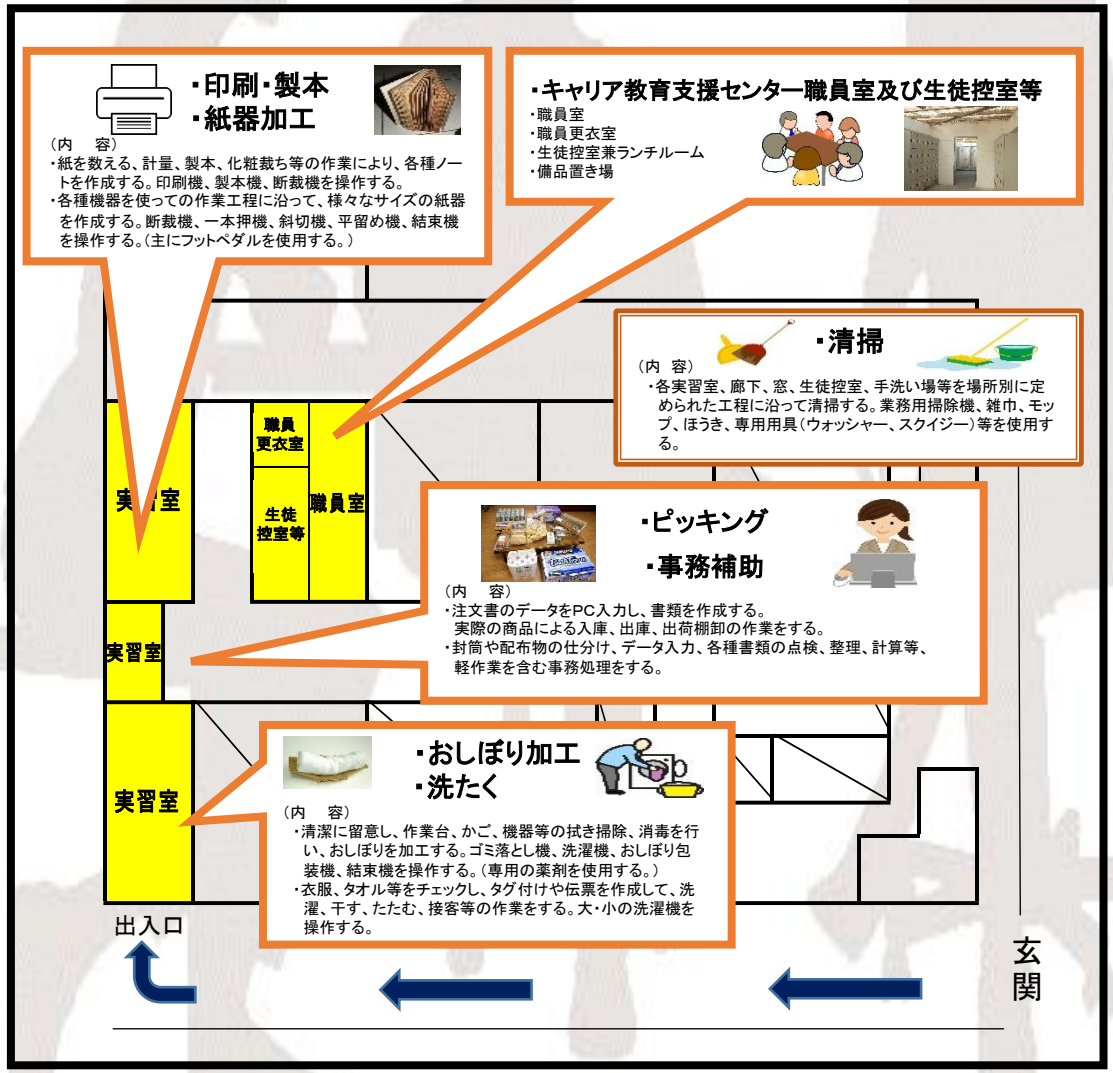
付　近　図



〒556-0027　大阪市浪速区木津川2-3-30
（大阪府立難波支援学校に併設）
電話（06）-6561-5377

・JR環状線	芦原橋駅	西６００m
・市バス	芦原橋駅	西６００m
・南海汐見橋線	芦原町駅	西２００m

大阪市キャリア教育支援センター 配置図



事業の概要

対象生徒
- 大阪市立中学校/大阪市立義務教育学校（後期課程）
  特別支援学級在籍生徒、及び通級による指導を受けている生徒
- 大阪府立高等学校（旧大阪市立高等学校）
  自立支援コース在籍生徒
- 大阪府立支援学校（旧大阪市立特別支援学校及び関連校）
  中学部、高等部在籍生徒

職員体制
- 統括　１名
- 主任指導員　１名
- 実習担当指導員　６名
- 就労相談担当指導員３名

実習種目
- おしぼり加工
- 紙器加工
- 印刷・製本
- 洗たく
- ピッキング
- 事務補助
- 清掃

実習時間（時程）（令和７年度）

	月	火	水	木	金
9:20～9:40	9:20にキャリア教育支援センター通用門前集合 入所後、タイムカードなど実習準備				
9:40～10:00	開始式（オリエンテーション、生徒向け講話）				
10:00～12:00	実習	実習	実習	実習	実習
12:00～12:45	昼食および休憩(昼休み)				
12:45～14:30	実習	実習	実習	実習	実習
14:30～14:45	終了式（実習講評、終了証授与）				
14:45～	退所				

※10:00～10:50保護者向け講話 ／ 11:00～12:00教員向け講話

その他

①実習は、各校1日を基本とします。
②1日の受け入れ人数は18名以下とします。
③年間2回(前期1回、後期1回)利用可能。参加希望生徒１８名を超える学校は、各期に2日に分けて実習も可能です。
④実習参加生徒の保護者の見学を積極的に進め、将来の就労に向けた各家庭での取組等についてアドバイスを実施します。
⑤付き添い教員に対して、障がい者雇用の現状等、就労相談担当指導員から情報発信をします。
⑥実習後も継続的に、障がいのある生徒の就労に関する相談が可能です。

就労相談担当指導員による障がいのある生徒の就労に関する相談支援

障がいのある生徒及び保護者・教員を就労相談担当指導員が直接サポート